

那須良輔の魅力を全国へ！ 「出前まんが美術館」

湯前まんが美術館－那須良輔記念館－
地域おこし協力隊

球磨郡 湯前(ゆのまえ)町

平成25年4月1日現在



・熊本県の南部、球磨盆地の東端に位置し、宮崎県西米良村に隣接

熊本市まで118km

宮崎市まで120km

鹿児島市まで110km

人口・・・約3,600人

主幹産業・・・農業、林業



湯前まんが美術館

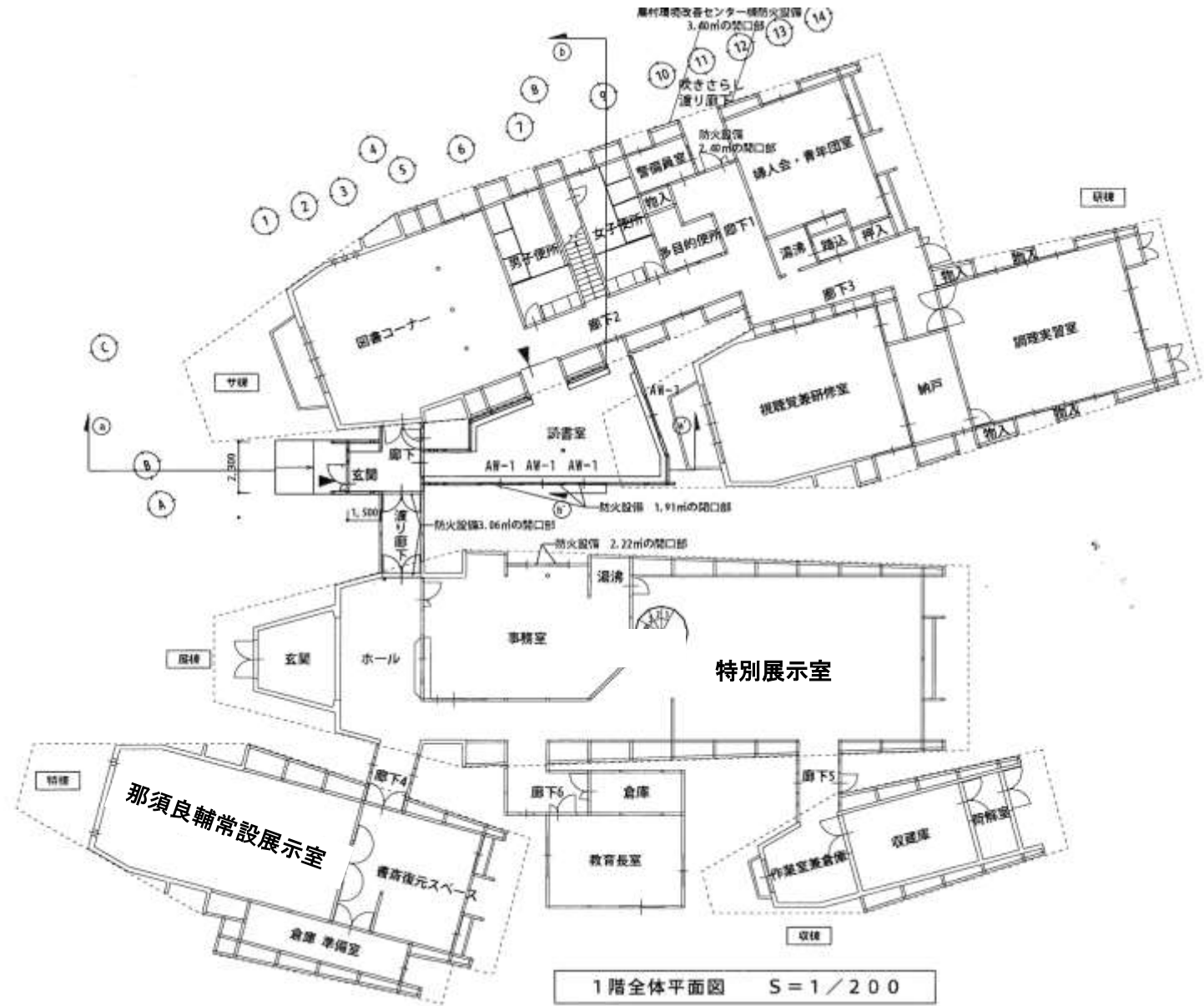
- ・1992年(平成4年)11月、湯前町出身の政治風刺マンガ家・那須良輔の功績を保存・展示する施設として開館。
- ・建物は「くまもとアートポリス」参加作品。球磨地方の杉と檜を使用し、地元の伝統的な大工技術を駆使した木造建築。
- ・那須良輔作品7,113点、遺品や写真などを含めると1万点以上の那須関連資料を収蔵。

▪ 那須良輔常設展示室

約61m²

▪ 特別展示室

約81m²



湯前まんが美術館

那須良輔

【1913-1989】



伝記マンガ化！
『那須良輔物語 風を描く人』



熊本県球磨郡湯前村（現・湯前町）に生まれる。幼い頃より球磨地域の豊かな自然に親しみ、天真爛漫な少年時代を送る。身近な野鳥や馬を地面に描いて遊んでいるうちに絵心が育まれ、洋画家になる夢を持って太平洋美術学校に進学。その後、内職のつもりで始めた子ども向けマンガや新聞マンガの世界で成功し、戦後マンガ界の重鎮となる。主に毎日新聞等連載の辛辣な**政治風刺マンガ**で知られるが、独特の閑雅なセンスが表れた**風景画**や、小林秀雄ら文化人との交遊で描かれた**人物画**、ユーモラスな**絵本**の挿絵などでも優れた作品を残している。

湯前まんが美術館と那須良輔資料の現在

・ 令和4年度で開館から **30周年**！



・ しかし、この30年で那須良輔作品は湯前から外に出る機会がなく、風刺漫画という文化や、那須良輔作品の認知度は下がってきている……。



・ 今年からは他館での展示を積極的に行い、**「那須良輔」**
「湯前町」の魅力をPRする！



「出前まんが美術館」とは？

具体的には……

当館に収蔵されているさまざまな那須良輔作品・資料を、他館に**展示会としてそのまま持ち込み可能なパッケージ化**



「出前まんが美術館」！

県内外の美術館、画廊、展示場などで“那須良輔展”を開催し、多くの方に那須良輔の作品を知ってもらうのが目標。

収蔵品紹介

①風刺マンガ

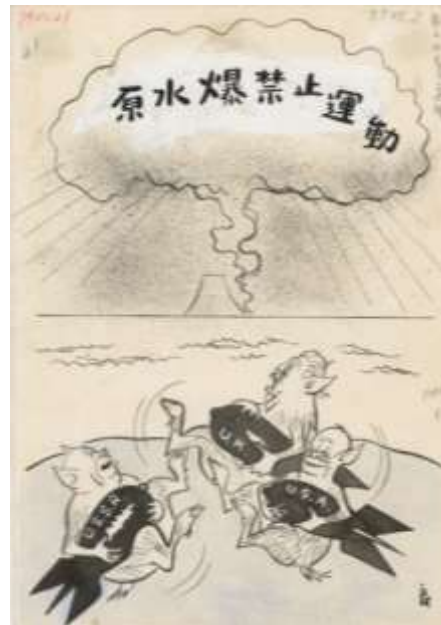
毎日新聞連載の風刺マンガをはじめ、各メディアに掲載された政治風刺マンガを多数収蔵。

那須自身の風刺マンガ家としてのキャリアが約50年に及ぶ（1940-1989）ため、戦争、環境問題、国内政争など多様なテーマの作品が残る。

「赤い人工衛星打上げ」



「きたない公約」



「おろかなる文明」

「これならおぼれまい」

②風刺画

新聞掲載のマンガとは別に、個展の開催などに合わせて描かれた風刺画。

メッセージ性が強い大作の絵画作品。

「へそのない人間」



「ロン・ヤス」



「麻雀」

③ 似顔絵・人物画

時の政治家や文化人をコミカルに、シニカルに描いた似顔絵。

ケネディ



吉田茂



毛沢東



大佛次郎



小林秀雄



川端康成



④風景画・ 動植物画など

風刺マンガとは異なる
柔らかな筆遣いで描か
れた風景画や、どこか
ユーモラスな味わいの
ある生き物たち。

「むつごろう」



「球磨川下り」



「餅焼」

⑤写真資料

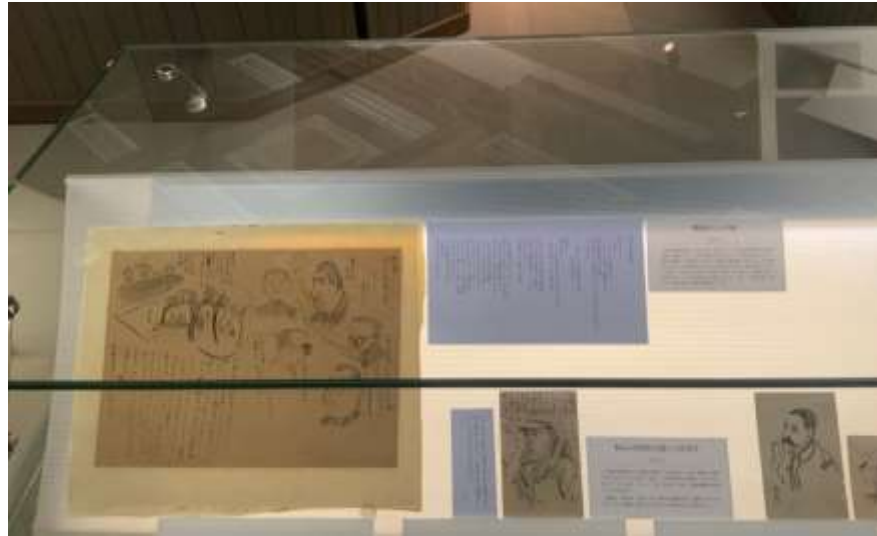
少年時代の写真から、
日中戦争出征時の写真、
マンガ家として成功した
後小林秀雄ら友人と
ともに撮った写真など
多数収蔵。



⑥ 関連資料

作品のほかにも、遺品、戦地から家族へ宛てた手紙などを収蔵。

常設展示室には那須が鎌倉の自宅で使用していた書斎を再現し、机や椅子、画材など本人が使用していたものを間近に見られるようになっています。



「出前まんが美術館」とは？

このような多様な作品群から、

○那須良輔の戦争体験を描いた作品・反戦をテーマにした風刺マンガを集めた

「戦争と平和展」

○風景画やユーモラスな動物の絵を集めた **「文化紀行展」**

○那須と交流があった文学者の肖像画を集めた **「鎌倉文士展」**

など、さまざまなパッケージを制作できます。

展示先の雰囲気・規模感に合わせた展示が可能です。

「出前まんが美術館」とは？

- 作品には時代背景や成立事情を詳しく解説したキャプションが付き、ご要望に応じて解説員（学芸員、地域おこし協力隊員）を派遣。
- まんが美術館で過去に開催した那須良輔展を「巡回展」として移送することもできます。



那須良輔
「戦争と平和」展
常設展示室

2022年8月1日（月）
～10月10日（月祝）

湯前まんが美術館-那須良輔記念館-
〒999-8501 秋田県湯前町湯前1-1-1
TEL:0187-52-1100

yunomae-manga.com



那須良輔
常設展示室

日本を代表する政治風刺漫画家・那須良輔の生涯

開館日……月・日曜日
（年末年始を除く）
開館時間……9:30-17:00

拝観料……大人300円、小学生200円、中学生無料

「戦争と平和」
1983年編



湯前まんが美術館
Yunomae Manga Museum 湯前・那須良輔記念館

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】 (アミュひろば 2022/10/8)



熊本県内の自治体PRイベント
湯前町と湯前まんが美術館のPR+大作の風刺画（複製）展示

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】 (アミュひろば 2022/10/8)



風刺画の展示には詳細なキャプションを付記
イベントポスター展示・チラシ配布

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】 (アミュひろば 2022/10/8)



ご来場いただいた方に町と美術館の解説
グッズ（缶バッジ）無料配布！

(実施例) 出前まんが美術館【くま博2022】 (アミュひろば 2022/10/8)



ステージでイベント告知・那須良輔作品の紹介
湯前町地域おこし協力隊の4人でブースを盛り上げました

(実施例) 出前まんが美術館【那須良輔の文化紀行】 (肥後細川庭園「松聲閣」 2022/11/19-27)



那須良輔原画 2 2 点を、東京都文京区・肥後細川庭園「松聲閣」内
「山茶花」の間（和室）で展示
日本庭園の雰囲気にも合う文化的な作品を中心とした展示パッケージ

(実施例) 出前まんが美術館【那須良輔の文化紀行】 (肥後細川庭園「松聲閣」 2022/11/19-27)



庭園を見に来られた方が原画展にも関心を持たれ、9日間で来場者は**1539名**
原画だけでなく、昭和の有名人の「似顔絵スタンディ」展示を導入しました

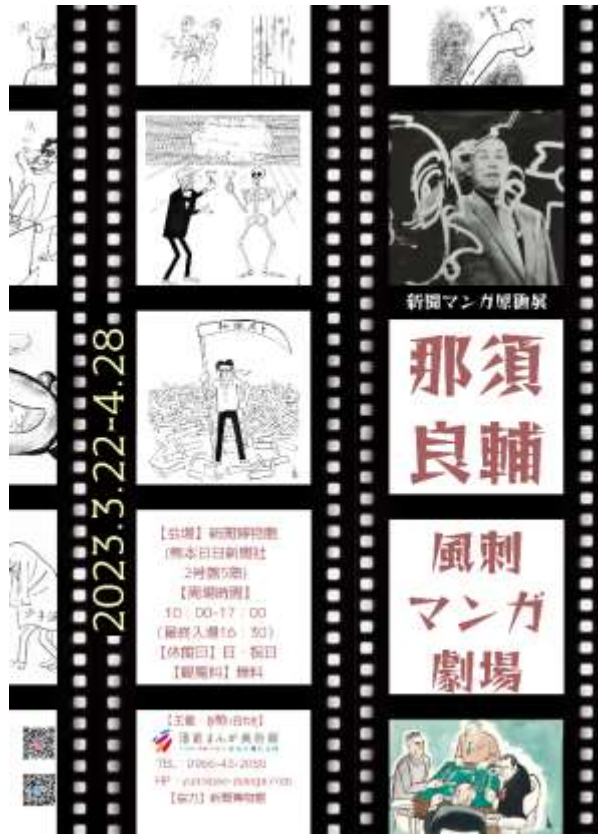
(実施例) 出前まんが美術館【熊本が生んだ風刺漫画家 那須良輔展】・【おいでよ！湯前まんが美術館】
(熊本県民交流館パレア 10Fロビー 2023/1/30/-2/13
2023/8/21-9/5)

※複製原画展



ビジネスパーソンや学生が多く行き来するロビーが会場
大作の風刺画から自然豊かな熊本の風景を描いた作品まで、郷土の偉人・那須良輔の魅力を
詰めこんだプチ展覧会を2度にわたり開催

（実施例） 出前まんが美術館【新聞マンガ原画展 那須良輔風刺マンガ劇場】
(熊本日日新聞社「新聞博物館」 2023/3/22/-4/28)



「新聞博物館」（熊本市中央区・熊本日日新聞社本社内）との共催
那須良輔が描いた風刺マンガ原画と、同館収蔵の貴重な紙面資料とのコラボ展示が実現！

(実施例) 出前まんが美術館【新聞マンガ原画展 那須良輔風刺マンガ劇場】
(熊本日日新聞社「新聞博物館」 2023/3/22/-4/28)



那須良輔の伝記マンガ『風を描く人』（2022,湯前町）や書籍資料、
初めて熊日新聞に掲載された那須の風刺マンガ等も展示

(実施例) 出前まんが美術館【新聞マンガ原画展 那須良輔風刺マンガ劇場】
(熊本日日新聞社「新聞博物館」 2023/3/22/-4/28)



X



(例) グリコ・森永事件の報道×風刺マンガ「オニさんこちら、手の鳴る方へ...」

(実施例) 出前まんが美術館【湯前まんが美術館in山都 那須良輔 作品展】

(熊本県上益城郡山都町「やまと文化の森」 2023/9/7/-10/1)



熊本県・山都町の文化交流施設「やまと文化の森」で実施
那須良輔作品のほか、「那須良輔風刺漫画大賞」歴代受賞作の傑作選、「ゆのまえ漫画フェスタ」で来町したマンガ家による直筆イラストなど、湯前まんが美術館のすべてがわかる展示
出前まんが美術館では過去最高の**2,900名**（**1日平均116名**）が来場！

(実施例) 出前まんが美術館【湯前まんが美術館in山都 那須良輔 作品展】

(熊本県上益城郡山都町「やまと文化の森」 2023/9/7/-10/1)



展示期間中の9月17日(日)に美術館地域おこし協力隊2名によるワークショップを開催
那須作品の絵柄を活用したオリジナル缶バッジづくり・マンガかるた遊びを行いました

(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)



戦時中 3度の召集経験がある那須良輔の戦争関連資料を展示

(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)



戦地にて撮影された写真資料を多数公開

(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)



当時米軍占領下にあった沖縄をテーマにした連作『沖縄は悲しからずや』

(参考) 当館での展示の様子 (那須良輔 「戦争と平和」展 2022.7/16~10/10)



召集時、マンガ家仲間たちから贈られた日章旗／自伝『漫画家生活50年』

お問い合わせ先

「那須良輔の作品展示に興味がある」
「展示ができそうな場所を知っている」
まずはお気軽にご相談ください！

☎0966-43-2050（湯前まんが美術館）

地域おこし協力隊運営X/Instagram:@yunomae_manga

